

おもちゃをください！「おもちゃプロジェクト」

被災者の子供に届け！『おもちゃプロジェクト』

私の力には限界があります。皆様の力がが必要です。

こんにちは。ばらの幼稚園の園児鈴木一朗の父の鈴木俊（スズキジュン）です。地震・津波・放射能と大きな災害を受けた南相馬市に在住で、0歳児を始め4人の子供を持つ玉川さん夫妻が横浜に避難しています。彼は南相馬市で工務店を経営し、書籍も出版され、新聞やラジオ等のマスメディアにもよく出ている地元で有名な、信頼のおける私の友人です。その玉川さんから直接被災地最前線の情報を聞くことが出来ました。

現地の状況は報道されている以上にとても深刻な状況です。全国から義援金が日本赤十字に集まっているようですが、その義援金が使われるのは、被害収集が終わった後、義援金分配委員会で分配を決議して被災者に渡されると聞いており、決議まで2年以上かかるとされ、今まさに困っている方へ全く届かない状況です。そして今、行政が受け取る支援物資は配給の仕組みが整備されていないため、支援物資10品目と指定されています。

被災地では、未だに避難所暮らしの方、仮設住宅に入った方、市営住宅や民間アパートに入居された方などそれぞれの生活が始まっています。それぞれの生活の中で必要な物資が全く足りていません。被災者が欲しいものはそれぞれ違うそうです。行政が避難所向けに受け入れている物は配給システムが出来ていない等の理由で支援物資10品目と限定されており、本当に必要な物資が必要な方に届かないのが現状です。**10品目だけでは生活はできません。**

そのことを知った私は、日用雑貨や生活必需品をダイレクトに被災者へ届けるための直送運搬便を仕立てました。支援物資が揃い次第、その都度出発します。我々民間では行政と違い、どんな物でも被災者に届けることが出来ます。

長期化する避難生活で被災者が今欲しい物は水や食料だけでなく日常生活品です。例えば子供が遊ぶおもちゃ・絵本・マンガ・ノート・手帳・鉛筆・消しゴム・クレヨン・お菓子などや、体を洗う石鹸・シャンプー・洗濯用洗剤など・・・これらの物資は行政では受け取ってくれないため、被災者である玉川さんが直接各被災者へ届けることとしました。また、別の仲間も物資を運んでくれるルートを確認しました。更に、支援物資の仕分けをして、必要な物資が必要な地域へ直接送るための中継基地を作りました。**この『おもちゃプロジェクト』を広めてください。**

今回の震災の復興は相当の年月がかかると考えられます。その間被災者はずっと避難所暮らしを続けていくのです。私個人の力には限界があります。皆様のご協力をお願いしたいものです。

特に今回は、皆様のお子様と同じ年代のかわいい子どもたちが楽しく遊んで笑顔でいられる時間を少しでも長くできるように、皆様のお子様を使用しているおもちゃの一部をお譲りください。

当然あいかわらず食料が一番不足していますので、おもちゃと合わせて食料をいただけるととても助かります。食料のほか、日常生活品なら何でも構いません。行政では受付できないものを被災者に届けます。お金でご支援いただけるのであれば、輸送するためのガソリン代や車のレンタル費用等、全額被災者支援に使わせて頂きます。



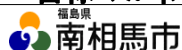
(株)アイビー・ガーデン 代表取締役 鈴木俊と息子のイチロー。



協力：ばらの幼稚園 (横浜市西区)

子供達が遊ぶおもちゃ・絵本・マンガ本がありません！

皆様かわいいお子様とともに今何が出来るのかを話し合い、被災者のお子様に幸せを分けてください。



※南相馬市役所では品目が限定され、しかも現在、個人からの受取はしていません！

●支援物資の受け入れ

このたびの東日本大震災による本市の被災に対し、皆様からは支援物資をはじめ、多大なご支援をいただき誠にありがとうございます。

現在、南相馬市では、2箇所の避難所に約250名の市民が避難生活をしており、さらに福島第1原子力発電所事故の影響を受けた避難指示及び屋内退避により約2万人を超える市民が屋内退避生活を続けており、物資が不足している状況にあります。

今後被災者等の生活支援に、市民・職員一丸となって取り組んでまいりますので、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

受入先：南相馬市救援物資受け入れセンター

住所：〒979-2522 福島県相馬市日下石鬼越辺101

電話：0244-35-1318 くわしくは 0244-24-5261 (農林水産課)

以下の物資については、**団体(法人、地域団体等)に限り、受け入れ中。**

◎特に不足しているもの (4月10日現在)

- ・食料品：缶詰(果物以外)
- ・復旧用資材：ブルーシート・スコップ・長靴(各サイズ 24~28)・安全靴(各サイズ 24~28)・作業用ゴーグル・軍手・ゴム手袋・土のう袋・一輪車

◎現在ある程度確保されているもの

- ・食料品：水、米、カップラーメン、レトルト食品、副食(お菓子等)
- ・寝具・衣類等：寝具(毛布や布団)、衣類及び下着
- ・日用雑貨：オムツ(大人用・子ども用)、洗濯用洗剤、食器用洗剤、乾電池、おしりふき、生理用品、トイレットペーパー、ティッシュペーパー
- ・学用品：ランドセル・復旧用資材：パール

●玉川氏の Facebook ページで情報を発信しています



<http://www.facebook.com/tamagawakoumuten>

支援物資を定期的に被災者である玉川氏が現地に直接搬送しています。お声がかかれば、被災者の一人として講演も致します。玉川さんに協力していただけのボランティア等の団体も募集しています。(写真：玉川光昭氏)

□Twitterでも情報発信をしています。TwitterID：@tamagawakmtn

被災地以外の方々には、被災者の分まで元気になっていただきたい！そして、日本を再建しましょう！

被災者である玉川さんへの“応援メッセージ”を添えてご送付いただけると尚ありがたいです！

支援10品目だけでは、人間らしい生活がおくれません！被災者の子供はみんな我慢しています！

皆様からいただいた「おもちゃ」や食糧は全て、必ず被災者のお子様にお届けします！

支援物資送り先
〒240-0051 横浜市保土ヶ谷区上菅田町 830 番地
株式会社アイビー・ガーデン内[被災者向けの支援物資中継基地]
TEL045-381-4000 FAX045-381-3834 メール：s.suzuki@niwa919.com
鈴木俊携帯番号：080-4087-5610

おもちゃと一緒に日持ちする食糧も入れて送ってください。当然一番不足しているのは食糧です。

今回、全面的にご協力をいただいた横浜市西区の“ばらの幼稚園”の皆様にご感謝いたします！